

## 多収で耐病性に優れる

# オーチャードグラス新品種「まきばたろう」

オーチャードグラスは我が国の永年草地の基幹草種として北海道から九州高標高地まで広く栽培され、採草および放牧に利用されています。東北以南のオーチャードグラスの利用は早生品種の採草利用が主体でしたが、より放牧利用に適した品種の要望も強く、また、永年草地の管理においては、省力化のため年間の刈取り回数が減少する傾向にあることから、採草・放牧兼用型の中生新品種の開発が望まれていました。そこで、畜産草地研究所では、耐病性が極めて強く、高収量性を長年維持し、東北から九州まで広く適応できる採草・放牧兼用型中生品種「まきばたろう」を育成しました。

### ☆ 技術の概要

1. 「まきばたろう」(図1)の出穂始日は、中生品種「マキバミドリ」より約3日早く、早生品種「アキミドリⅡ」より約8日遅く、“中生”に属する品種です(表1)。
2. 収量性は「マキバミドリ」より明らかに優れ、合計乾物収量は青森から大分までの8カ所平均で「マキバミドリ」比で8%多収です。また、全ての場所で「マキバミドリ」を上回る収量性が明らかになり、東北北部から九州高標高地までの広い地域で高い生産性を発揮します。
3. 病害抵抗性に極めて優れます。さび病抵抗性、うどんこ病抵抗性で「マキバミドリ」より優れ、雲形病抵抗性で「アキミドリⅡ」より優れます。
4. 永続性に優れ、経年による衰退が少ないほか、秋の草勢が「マキバミドリ」より優れています。

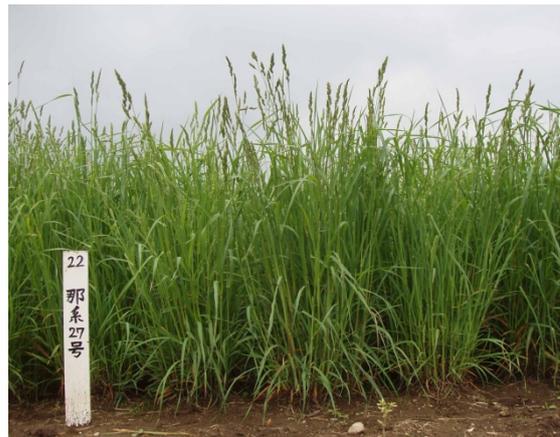


図1. 「まきばたろう」の草姿

表1. 「まきばたろう」の生育特性(全国8カ所)

品種名	出穂始日 (月. 日)	乾物収量 (kg/10a)	病害程度(1~9:甚)		
			さび病	雲形病	うどんこ病
まきばたろう(中生)	5. 6	406	1.8	1.5	1.3
参考: マキバミドリ(中生)	5. 9	377	3.7	1.7	2.7
参考: アキミドリⅡ(早生)	4. 28	398	2.8	3.2	1.7

注) 青森から大分まで全国8カ所平均。3年間(6カ所)、4年間(1カ所)、2年間(1カ所)の平均または合計。

### ☆ 活用面での留意点

1. 栽培適地は、東北北部(高標高地を除く)から九州高標高地(標高700m程度以上)です。
2. 葉腐病が発生する可能性があるため、夏季は過繁茂にならないよう留意する必要があります。
3. 詳細については、畜産草地研究所・飼料作物育種研究チーム(電話:0287-37-7550)にお問合せください。

(畜産草地研究所 飼料作生産性向上研究チーム長 菅野 勉)